『笑顔で与える安心感』

寝屋川消防署　警備課本署　消防担当　消防士　泰地（たいじ）　菜月（なつき）(26)

《業務内容》

私が勤務している消防隊は、火災現場だけでなく、救急隊と連携し、傷病者への救命処置や、自動火災報知設備の吹鳴による火災危険の調査、交通事故、ガス漏れ警戒等の事案へ出動します。他にも、火災を未然に防ぐための予防業務として事業所や幼稚園に行き、消防訓練の指導を行うなど多岐にわたります。そして、業務の合間を使って災害現場で100%の力が発揮できるように日々訓練を行っています。消防の１日の業務は、消防車や資器材の点検から始まります。いつ、どこで発生するか分からない災害に万全の状態で出動できるように入念に点検し、災害出動に備えます。そして、出動指令がかかれば災害現場にいち早く駆けつけ、人命救助ができるように日々取り組んでいます。

《仕事に対するやりがい》

実際に火災や災害が起きていない時も、住んでいる地域には必ず消防署があり、日々訓練を重ねている消防士がいます。それは、そこで生活する人々に安心感を与えていると思います。このように、目には見えませんが、市民に信頼、安心される存在であることが大きなやりがいに繋がっていると感じます。また、消防の仕事は一人ではできません。小隊や中隊というチームでの活動となるため、寝食をともにしながらチームワークを深め、人命救助を目的に活動するということに、とてもやりがいに感じます。

《女性消防吏員として働く上での職場環境》

業務内容は男女関係なく同じ仕事であるため、もちろん男性には筋力や体力で劣る部分はありますが、時には上司や先輩方の力を借りながら、しかしそれに頼りすぎず自らも訓練を重ね、日々業務に励んでいます。火災現場でも最前線に立つことができ、男女関係なく様々なことにチャレンジできる職場だと思います。また、様々な部署で女性消防士の先輩方が活躍しており、活動の幅を広げてくださっているため、選択の幅も広く女性が働きやすい環境だと思います。